

☆出会いの旅

モロッコとの
10年目の
出会い

板東 慧

（中部大学国際関係学部教授
生活文化研究所長）

「モロッコを旅する」と聞くだけで、多くの友人に「大丈夫か？」と聞かれる。それほど遠く最澄てという感じである。確かに、われわれには地球の反対側の無縁の存在のような先入見があり、戦前の映画「外人部隊」や「モロッコ」を知る人々にとってはまさに「地の果て」の感がある。しかし、この国はスペインの地中海をへだてた隣にあり、ロンドンに近い経度、日本と同じ緯度なのである。

この3月、10年ぶりにスペイン・ポルトガル・モロッコを旅した。この地はまだまだ観光ずれていない発見があり、物価も安いし、特にやきものは魅力的であり、家族の希望もあって再び訪れる気になったのであるが、今回は10年の歳月がどのような変化をもたらしたかという興味も大いにあった。前回は、スペインを一回りしてアルヘシラスからジブラルタル海峡をわたってタンジールからはいったのだが今回は逆にバルセロナからカサブランカへ飛び、マラケシュ・ラバト・マクネス・フェズ・タンジールなどモロッコの古都をまわって、再びスペインにもどるという逆のコースをとった。

カサブランカは、その名を聞いただけでもあの名画の場面からかもしだす強烈なエキゾティズムをほうふつさせるが、今やそのような香りは少ない近代都市で、日本の商社マンも多く、10年前と比べてもチャドル姿も少なく、ロバの背にゆられる老人もほとんど見かけず、ただ

車が増えたという感じであった。しかし、官庁の集まる周辺は、濃緑の屋根にクリーム色の壁というモロッコ独特の中高層建築や広場など、途上国特有のモニュメンタルな巨大空間が構築されていた。カサブランカはタンジールと並んで近代的な港街で、メディナ（旧市街）やカスバ（砦の中の街）はかなり観光化して道もやや広く、青空市場的な感じがある。

ラバトは首都だが、それほど大きな街ではなく、やはり緑の屋根の王宮前広場は近代的で美しい。モロッコは戦後フランス領から独立したが、その時の王であり国祖ともいえるモハメッド5世の柩が横たわる巨大な霊廟もここにあり、その衛兵は騎馬に乗り緑と金の華麗なコスチュームを身につけている。この辺りにはやはり黒・赤・緑などの刺繍のある服に、真鍮の容器を沢山ぶら下げた水売りの老人が出没して、水だけでなくカメラにおさまって稼いでいる。現国王ハッサン2世は、父王でもあるモハメッド5世の遺志をつぎ、きわめて開明的で、民主化と産業化をすすめ、治安もよく安定した国にしている。カサブランカからマラケシュまでの300キロ余、大半は開墾された畑がつづき、アトラス山脈からの川をひいて土地改造が進んでいるのもその一例といえる。大アトラス山脈をみながらのマラケシュへの道は、10年前にはガタガタ道だったが、観光道路らしくなっていたが、風景はさほど変わっていない。モロッコというとか

ハラ砂漠の中という感じがあるが、むしろアトラスを越えた国の端からがサハラである。この辺り、乾燥しているので昼は暑い、木陰にはいと涼しく、夜は0度に



右上/フェズのスーク 右下/マラケシュの陶器スーク
中/路上のヘビ使い 左上/フェズの街 左下/チャドル姿の女性たち



近くなるほどで、標準気温は日本と変わらず、むしろ凌ぎやすいようである。カフタンなどという裾長の衣装の下にズボンといった服装も、砂漠の下からの熱気と夜の寒さを防ぐためといえ、その合理性も理解できる。

マラケシュは、100年前までの首都で、太陽の反射がきついので、壁がすべて茶色になっているのは、カサブランカ(白い家の意味)などとの違いである。ここは遺跡も多いが、何といっても庄巻は、昼頃から蛇使いやサハラダンスなど見世物で賑わうジャマ・エル・フナ広場であり、ここから迷路のように広がるスーク(市場)である。スークは皮・陶器・香料・銀・じゅうたんなど職別が集まっている。これに大モスクと門でメジナが形成されている。この辺りは、10年前と全く変わっていない。むしろ1、000年もあまり変わっていないといふべきだろう。

フェズの場合には、もっと巨大な迷路が、城壁と城門に囲まれて、さらに歴史の重みを感じさせ、とても案内なしには迷わずに出てこれない感じであり、階下が店となっている家々は3階や5階もあって、1、000年もそのままの形でひしめいている。私は、このような場所は、よく現地人と同じ服装をして歩く。ここでは「サヴァ」いうフランス語で挨拶をかわす。すべて値段はついてなくて、売値より先に買値をいわされる場合が多い。ひやかして、交渉途中で他の店に移るといような日本的なやり方をすると、気がついてみたらひやかした各店の5人位が「いくらで買う」と執拗についてきていたこともある。

しかし、タイムトンネルのようなモロッコの旅ははかりしれない魅力をもつ。これにクスクスとケバブというモロッコ料理は日本人にもよくあうし、ミント茶もつかれを癒してくれる。観光に力を入れるこの国は、ホテルなども古城もあれば超近代的なものもある。10年目のモロッコとの再会は、確実に次の出会いへの期待をかきたてることとなった。

銘菓

六甲くずもろ

六月より新発売

長い和菓子の歴史の中で

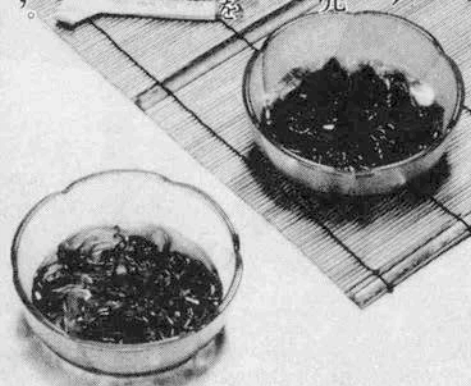
広く愛されてまいりました葛を

風味豊かに調整しました。

器に氷を入れ、よく冷やして

お召し上り下さい。

蜜の味もお楽しみいただけます。



カチから餅

トアロード ☎078(331)3250・3151
11:00AM~19:30PM 水曜日休

神戸肉を進物に

最高級品の黒毛和牛の雌牛のみ
扱っております。フレッシュな
まま、日本全国へお届けいたし
ます。



午前8時~午後6時30分 日・祝は休日

神戸元町



おみやげ、ご贈答用に
名物神戸肉をどうぞ。

辰屋

神戸市中央区元町通1丁目13-19 TEL 331-3016



SCREEN ロードショー

抽選の上、30名様に、御招待券差し上げます。御希望の方は、シネマガイドまで、葉書をお送り下さい。

シネマガイド

〒650 神戸市中央区三宮2-11-1
センタープラザ西館地下

☎078-332-4735

●営業時間/10:00AM~7:00PM
(年中無休)



ポリス アカデミー4

あのお騒がせ集団が帰ってくる!! 2年前、初めて全世界にその実態を暴露した「ポリスアカデミー」の面々が、自警団の結成による学園の危機を救うべく、またP・Aに集まった!!

6月13日公開
神戸ビッグ映劇
221-1388



リーサル ・ウェポン

LA市警内外にその名を轟かすスーパー・コップ。それが「リーサル・ウェポン」メル・ギブソンとリチャード・ドナーのコンビが贈る、「ダーティーハリー」をも凌ぐハードアクション巨編!!

6月13日公開
朝日会館
331-6361



ビバリーヒルズ コップ2

3年前、全世界で大ヒットした前作に引き続き、エディ・マーフィ扮する刑事アクセルが、再びビバリーヒルズに帰って来た!

パラマウント映画の創立75周年の目玉として話題騒然!

7月11日公開
国際松竹
221-4476

KOBE MODERN CULTURE

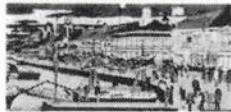
美術



★神戸はじめ物語展

6月6日(土)～7月26日(日)
10時～5時(入館は4時半まで)
市立博物館 一般600円 大高生
400円 中学生300円

一八六八年の開港以後、神戸は欧米文化摂取の窓口になり日本の近代化に大きな役割を果たした。映画やゴルフをはじめ、神戸を発祥の地とする新しいものや出来事が数多く誕生している



抗津神戸海岸廟之図

では「神戸」がはじめて「と」されるものを展示し、西洋文化を受け入れて変貌する明治時代の神戸の姿を浮き彫りにする。

★金明姫個展

6月11日(木)～16日(火) ギャラリーはりかわ



金明姫 本進、熊谷敏雄らに師事し

翌年には京都ではじめて個展を開いた。神戸では昨年のシアターポシエツトに次いで2度目の個展。

音楽



★日本アマチュア・シャンソン・コンクール全国大会

6月19日(金) 18時神戸文化ホール 1000円

一般公募のアマチュアコンクールとして歌唱力を競うだけでなく、シャンソンのもつ大衆性、ファッション性なども盛りこみ歌う人も聴く人も楽しめる。今回



第2回最優秀歌唱賞・岸本信明

は世界的に有名なシャンソン歌手シャルル・デュモンを審査員として招く。

全国四カ所での地区大会を勝ち抜いたアマチュア歌手三〇人が出演する。

★宮本慶子マリリンバ演奏会

6月20日(土) 18時半 神戸文化ホール 2500円 ベア券4000円



宮本慶子 作曲家が

マリリンバのための音楽を書いているが、今回はすでに定評のあるいくつかの作品

のほか中村茂隆氏によって編曲されたシオスターコーグイッチの曲が4台のマリンバと打楽器によって演奏される。曲目はピットフィールドのソナタ、一柳慧の森の肖像ほか。ピアノ・田淵幸三、打楽器・松村初恵

★小田イタル&滝えり子

「雨・舞・食・響」

6月17日(水) 18時 ポートピアホテル 前売15000円 前売18000円

兵庫県とフランスの特産品を使用した豪華なディナーを食べながら Swing & Sway...



滝えり子 「センチメンタルジャニー」を



小田イタル エットするほか、タンゴや懐かしい

曲を小田が「豪情」「プリテンド」「雨に唄えば」など滝が歌う。リサイタルの間にはダンスタイムも。



古典芸能

★歌舞伎鑑賞教室「俊寛」

6月12日(金) 11時 明石市会館一階席15000円 二階席12000円 近松門左衛門により人形浄瑠璃として制作されて以来、二七〇に年近い上演の歴史を持つすぐれた作品。俊寛僧都に片岡我當丈。海女千鳥に市村家橘が演ずる。また歌舞伎がはじめて



演劇



我當という方の片岡解説もつく。

★出雲の阿国

6月11日(木) 18時15分 神戸文化ホール 一階席3000円 二階席2500円



つまかといふことを追求めた、原作者有吉佐和子の熱い想いが舞台から伝わってくる。

阿国にいまむらいつみ、恋人の三九郎に嵐圭史が紛するほか、妻倉和子、嵐芳三郎など前進座が総力を上げて贈る。

桃山文化に花ひらいた、天下一の踊り手。愛に生き恋に燃えた火の女。芸術とか芸能とかいうものが、人々の生きていく上で、いったい何のために存在するの

★去年の夏、チュリウムス

6月11日(木) 13時(土) 18時15分14日(日) 13時半 神戸文化ホール 申し込みは3511-3535まで

三十四歳で夭逝したA・

ヴァムビエロフの最後の作品。シヤマノフ(加藤剛)は、食堂に来る客が草花を踏み荒すのを、そこで働くクレンチーナ(日下由美)が毎日けなげに手入れをするのに興味を持つ。そして彼女とのふとした会話から彼女が自分を愛しているこ

とを知る。彼女の存在に新たな人生の光を感じたシヤ



日下由美
マリーノフ
はワレン
チーナと
会うため



加藤中谷一朗
剛：出演は
加藤剛、
加藤中谷一朗、齊藤

深雪、日下由美ほか。



映画

音楽



★ヤナリ・チェク弦楽四重奏団&伊藤ルミ

10日(水) 19時 ザ・シンフォニーホール S4500円 A4000円 B3500円

★今井勲子歌曲の夕べ

24日(水) 19時 神戸文化ホール 2500円(自由席)

★バイオリン独奏・田辺良子

14日(日) 14時 神戸文化ホール 8000円

★藤組心とソプラノリサイタル

16日(火) 18時半 生田文化会館 1500円(飲物付)

★東京佼成ウインドオーケストラ

21日(日) 14時 明石市民会館大ホール A3300円 B2800円 学生席2000円

★ピアノと打楽器による三人展
ピアノと作曲・一瀬 麗・ピアノ・木村おどり マリンバと打楽器・岩城宏之

11日(木) 19時 ルナホール 2800円

★スタジオハーレーク
On Stage Parts
6日(土) 14時 18時 ビッコロ



映画

★小津安二郎シリーズ「麦秋」

5日(金) 14時 18時半 神戸文化ホールシガル 8000円

★小津安二郎シリーズ「秋日和」

19日(金) 14時 16時半 神戸文化ホールシガル 8000円

★市映映劇場

「キス・ミー・グッバイ」

25日(木) 17時(土) 18時半 神戸文化ホールシガル 3300円

★マーク・ティパー・フォラム
劇団来日公演 テラ・ノヴァ

11日(木) 18時半 ビッコロシタター 一般5000円 学生3000円

★弾の射手
19日(金) 20日(土) 18時15分

★リール・ウエボン

6月13日(土) 7月31日(金) 朝日会館 一般12000円(当日15000円) 学生11000円(当日13000円)

LA市警内で激烈な捜査

ぶりを買われて、殺人課へ抜てき、悪をセン滅するマリー・リッダス。
ロジャー・マートー。50の坂にかろうとする殺人課のベテラン黒人刑事。共に、接点のなかつた二人の刑事がひよんなことからチームを組まされることにな



メル・ギブソン
「マ
ツッドマ
ックス」シ
リーズの
メル・ギ

つた。麻薬組織捜査の過程で、マックスの愛娘が人質に奪われてしま
う。「マ
ツッドマ
ックス」シ
リーズの
メル・ギ
ブソンと「スパーバーマン」
「グーニーズ」のリチャード・ドナーの最強コンビがハード・アクションに挑む。
★この映画のチケットを5名様にプレゼント。希望者は、葉書に住所氏名を記明の上神戸っ子「朝日」係



古典芸能

★第2回浪曲大会

4日(木) 11時半 神戸文化ホール 2000円

★山崎伸子チェロリサイタル

5日(金) 19時 神戸文化ホール 2800円

美術

★県民ギャラリー
彫刻家連盟小作品展

6/5 6/12 6/19 6/26 6/27 6/28 6/29 6/30 6/31

★県民アートギャラリー
書道笹波会会展 6/10 6/16 6/20 6/23 6/24 6/25 6/26 6/27 6/28 6/29 6/30 6/31

★大丸美術館
松永隆雄水墨画展 6/11 6/18 6/25 6/26 6/27 6/28 6/29 6/30 6/31

★サンバル市民ギャラリー
神戸書道専門展 6/5 6/17 6/19 6/24 6/26 6/27 6/28 6/29 6/30 6/31

★大谷記念美術館
「イタリヤ・ポーロ・ニヤ」国際絵本原画展 6/6 6/7 6/8 6/9 6/10 6/11 6/12 6/13 6/14 6/15 6/16 6/17 6/18 6/19 6/20 6/21 6/22 6/23 6/24 6/25 6/26 6/27 6/28 6/29 6/30 6/31

★県民ギャラリー
兵庫の焼きの展 6/1 6/28 6/29 6/30 6/31

★大丸美術館
松永隆雄水墨画展 6/11 6/18 6/25 6/26 6/27 6/28 6/29 6/30 6/31

★大丸美術館
松永隆雄水墨画展 6/11 6/18 6/25 6/26 6/27 6/28 6/29 6/30 6/31

■CINEMA 試写室

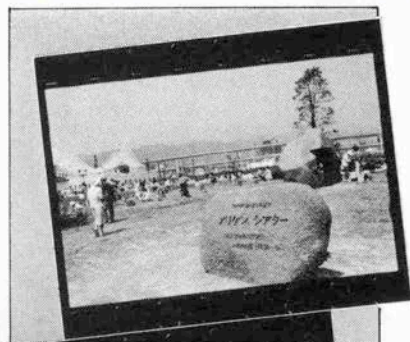
どう考えても「わかった」みたいな

映画上映記念碑

「メリケンシアター」

除幕式だったのに

淀川 長治 〈映画評論家〉



この日の四月二十九日がいっぱい天気（晴れ）である
ということを経験が自信を持たれたのであろう。

会場はメリケンパークのみどりの広場。向うは青い
海。あたの上は青い空。記念碑をとりまくは目にし
みるみどりの芝生。

これ、この日、どしや降りならどうなさる。これ、こ
この日、春のおわりを告げる大嵐ならどうなさる。

私は東京から駆けつける前の前の晩、ふとんの中で想
像してみた。雨、雨、雨。傘、傘、傘。風、風、風。除
幕の白布がゆれひらめいて、かっこうわるい。雨ならも
っと困る。雨傘が濡れた記念碑とりまいて。これなら葬
式や。

いったい誰がこの日、晴れると自信を持たれたか。え
らい人やなあ。

それが、この日、完べきに晴れた。見上げる空に雲も
なく、汗ばむ肌に、海からのそよ風。

だから集まられた、集まられた。会場は見物客でいっ
ぱい。人の波。押しあい、へし合い。

運が強いとはこのこと。よっぽど運が強かった。家族
連れでいっぱい、その華やかなる賑わい。

×

まったく、この日は永久に忘れまい。毎年、毎年、こ
の日は忘れまい。この記念碑。名づけて「メリケンシア
ター」。来年もさらい年もこの日、「そやメリケンシアタ
ーにゆこ」。

この日、おぼえがよいのは私たちのえらいお父さまと
同じ誕生日。それだけやない。四月二十九日の二十九日
が活動写真上陸第一歩の明治二十九年の29ところあわ
せですぞ。

明治二十九年に日本に初めて動く写真が輸入されたそ
の映画の歴史は、その年代は、やっぱり映画ファンなら
ずとも「文化の日」とでもいいたいその歴史の貴重な
年代記号。

この日に除幕とはしゃれましたぜ。

×

神戸市長の宮崎さんと私が白い手袋をはめ、右と左か
ら同時にテープを切る。げんしゆくその一瞬。巨石く
りぬいたスクリーンを思わせるこのアイディアの石の記
念碑がサッととびだすその瞬間、アッとはびつくり。石を
くりぬいたスクリーンの穴にうづくまるはチャップリン



左から、長島隆会長と山口牧生さん、神戸三中仲間である宮崎神戸市長と完成した映画記念碑「メリケンシアター」の前で握手する筆者、小林陸一郎さんと増田正和さん（4月29日メリケンパークにて）

そっくりのメイキャップといでたちのこの日バントマイムを演じる若者。見物人からのいっせいの笑いが、たちまちにしてチャップリンの「街の灯」のファースト・シーンの除幕式にかさなって、よくもまあ、しゃれましたね……というスマート・パロディ。この除幕式。

×

やっぱり神戸。市長の演説もスラリやさしく、みなさん公園や街の木や花や彫刻を大事にして下さいよの演説のしめくくりまで校長が教え子に言うがごとく、そして

手にした原稿を読みあげるなどという冷たさもない。市長と私は同じ中学生（三中）仲間。二人で記念碑のテープを切るこのいんねんがまた私には嬉しい。

除幕の最初に本誌の小泉美喜子さんがマイクに向って「ついに除幕の日がまいりまして……」と言われるその立ち姿に私は「あんたとうとうやりはったなア」と申したい感激が全身にジーンと流れた。おかげさではない、ほんとにそう思った。小泉さん、よくやったねえ！

×

それからこの石の記念碑。この石のデザイン。スタア名をきさんだあまたの石の置きかた。その石のかたち。

これはニューヨークの近代美術館の庭にそっくり持ちこみたいとニューヨークはこれを見るやそう思うにちがいない。

×

かたちにはまることは面白くない。といって脱線のゆきすぎは見苦しいし下品だ。この四月二十九日の除幕式は式典のかたちを破り、しかも品位を失わぬ。会長の長島隆さん、そしてこのメリケン・シアターのデザインを生かした山口牧生、小林陸一郎、増田正和の環境造形Qの三氏もこの日の除幕式の前に立たれて、さぞや胸いっぱいのお気持ちになられたことだろう。

私はこの人たちを見つめ「ありがとう」を胸のなかで何度申したことが。見るからに、やさしそう。見るからに美術の先生の品格。

×

四月二十九日こそはこのメリケン・シアターの誕生の日。この昭和六十二年（一九八七）四月二十九日が神戸のカレンダーに、いや日本のカレンダーにとこしえにその祝日をくりかえし迎えるだけでなく、春に夏に秋に冬でさえ、このメリケン・パークのメリケン・シアターで何かと文化の催し、映画のつどいを持たれるよう。ああ……神戸は……えらいよ……ついにやりましたなあ！

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより

NEWS

★神戸開港の香りを
お届けします

開港120年を記念して数々のイベントが催されている中、UCC上島珈琲より「神戸開港120年記念珈琲」



限定発売です

が発売された。

日本最大の輸入港神戸で愛飲されてきた「神戸コーヒー」を限定商品として開発したもので、豊かなコクとビターな味わいが特徴。港神戸の文明開花の香りが漂う神戸で生まれ育った日本のコーヒーの代表作をこの機会に味わってみては。

■「神戸開港120年記念珈琲」200g缶1000円（標準小売価格）販売地域：兵庫県

ART

★木を焼く、土を焼く
加藤六郎・焼き絵展

赤い屋根が美しいベニスの街、洒落たカフェの並ぶパリの街かど、緑の木々が続く田舎道等々。何気ない素材を描いた焼き絵は、ベニヤ板の上に、電気ゴテで輪かくを描き、その上から水彩絵の具で彩色した素朴な絵画。



ヴィッキオ様

作者の加藤六郎氏は愛知

県瀬戸市に生まれ、陶芸の道を進んでいたが、三、四年前に瀬戸焼の額縁と焼き絵というオリジナルを発表。その暖かみのある画風とアイデアで、巾広い人々に受け入れられている。

OPEN

★女の夢だんだん強くク

レシエンドールオープン
神戸でも数少ないマベ専門店の田崎真珠マベパール店が、新たに「クレシエン



「アリビ」を前に

ドル」として4月29日オープンした。

今までのマベの他に、シルバーとチタン、ブチ・ジュエリーが加えられ、より若い層をねらった商品構成

DINNER SHOW

★あでやかに華麗に歌って

鳳蘭ディナーショー

30周年を期に、ナイトクラブから多目的ホールとしてより多くの人が利用できるようになった北野クラブ。第一回の催しとして「鳳蘭ディナーショー」が4月29日華麗に繰り広げられた。

夜景の美しい2Fレストランでディナーを楽しんだ後、1Fホールへ。「ろくでなし」「サントワ・マミー」など10数曲の熱唱と軽いおしゃべりで、魅力あふれるショーが一時にわたって展開された。昨年、「シカゴ」

となっている。特にチャンを使った「ALIBI（アリビ）」は高温高圧をかけて化学的に発色させたもので、色の美しさと軽さが特徴。真珠の自然美とは対照的に、人工的なデザインのおもしろさが楽しめる。

「マベ専門店として2年半、その間のお客様はもちろん、新しい若いお客様にも田崎のデザインを手軽に味わってほしいですね。店名のクレシエンドールのように、女性のおしゃれ心を広げられたら、と思っています」と中井店長。

■クレシエンドール/三宮センター街078・3391・2028



熱唱する鳳蘭

で芸術祭賞を受賞した鳳蘭さん、円熟味の増したステージングは彼女ならではの地元神戸っ子のファンからさかんに拍手を浴びていた。「Kitano Night Special」と名付けられたこの催し、今後大人の雰囲気をもつゲストを招いて、続けていく予定。



「海」がテーマ。424名の応募者の中から選ばれた40名が個性豊かなマリナーファッション&パフォーマンスを披露した。また観客の中からもギヤラリー賞が選ばれ、神戸のファッションが海を舞台に花開いた様だった。

コンテスト終了後は最優秀賞に選ばれた井上智子さんら入賞者が淡路島に渡り、ロイヤルグレンホテルでレセプションパーティーを楽しんだ。

●海を着こなす。ベストドレッサーズ決定！今年で6回目を迎えた「神戸ベストドレッサーズ大賞（ファッションパーク協賛）」が去る4月25日神戸浜ウエザリーポールにて開かれた。今回は神戸開港120年にちなんで

CONTEST

PEOPLE <57>



●手づくりの良さを味わってもらいたい
細井 昭宏さん<レスポワール本店支配人>

元町通りから少し南に入ったところに、この春オープンしたクッキーの館・レスポワール。店内に入ると焼きたてクッキーの甘い香りが漂ってくる。こやかな笑顔で現われた細井さんは永年営業畑を歩んできて、2年前からレスポワールへ。「ヒット商品を出すのも大事ですが、やはりお客様に“満足”をもって帰っていただくのが一番ですね」と、心のこもったサービスに余念がない。

●オリエンタルホテルでは、6月5日（金）2階大宴会場において、梓みちよ・ディナ・ショーを行う。

おこなふ歌を、時に優しく時に華やかに歌う梓みちよの円熟したステージ。豪華なディナーの後に過ごす魅力的なひとときをお楽しみください。

1部5...30PM 2部8...30PM
お一人様¥25,000
他にディナー・宿泊・プランもあるお一人¥30,000
ご予約・お問合せは神戸オリエンタルホテル 078・331・8111 宴会予約係へ。

●本格的なフランス料理が味わえるレストラン・プラン。

TOPICS



●UCC上島珈琲より
「神戸開港120年記念珈琲」をレギュラーコーヒーでおなじみのUCCから、神戸開港120年祭を記念して「神戸コーヒー」が開発されました。港神戸の文明開化の香りが漂う神戸で育ったコーヒーの代表を10名様にプレゼント。深い香りと味をお楽しみ下さい。

ドゥ・プランでは6月30日迄シェフのすすめるコースを設けている。鴨の温かいサラダ、舌平目白ワイン蒸し等、本場の料理を思ふ存分に、ご賞味下さい。税・サ込で¥3,600。御予約は078・321・1455まで。

●ピアニスト小田イタルさんが6月17日（水）18:00神戸ポルトピアホテル・音楽の間に「雨・舞・食・響」と題して、軽快なポピュラーが繰り返されるピアノを弾きながら「フレンド」と名付けられたパトリックと名乗られたパトリックさん、そしてポルトピアホテル特選のフランス料理でお楽しみ下さい。



●末積製菓より
ウッド・フレームを木の暖かみが伝わってくる優しい色あいのウッドフレームを末積製菓より5名の方にプレゼント致します。お部屋のイメージチェンジに、親しい人へのプレゼントに…。シックなフレームはどんな絵にもよくマッチします。

PRESENT CORNER

●応募方法 ●葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町1-1大神ビル9F「月刊神戸っ子」神戸百店会プレゼント係までご応募下さい。6月20日消印まで有効です。当選者には神戸っ子から当選葉書を発送、葉書を持ってお店まで、プレゼントを受け取りにお出かけ下さい。

★ファッション公開講座

'87秋冬物ヨーロッパ・アメリカ最新情報

ファッション界の 地殻変動に注目を

講師 立亀 長三＜ナクトアトリエ社長＞



立亀長三氏

4月27日、恒例のファッション公開講座が開かれた。円高が深刻化の一端をたどる世界経済界。ファッション界の世界地図は、果たしてどんな様相を呈しているだろうか。

「今年気をつけたいのは“変化”です。生産と物流・消費者と消費・商品のそれぞれ、変化に注目していただきたい。つまり、どういうことなのかということ、これから、スライドを見ながら説明しましょう。

今年3月、ドイツでもパリでも目についた色は、コントラストも鮮やかな黒と白のモノクローム、あるいはモノ

トーン。縞はニットが横、織物は縦でターゲットは働く女性です。ブラウスもパフォーマンス、お洒落をするために、オーバーブラウスで、カーディガンなど着ません。男も女も、働く人間は、上着を脱ぐ季節には、名刺や手帳が入る胸ポケットが必要です。今年はキャリアウーマンの縞のシャツと、マリンルックの縞が、突然クロスしたというわけです。

'87秋冬物は、バリエーション豊富な茶色と、黒白で、テーマはキャリアです。形は長方形か逆台形。上着を長くスカートはミニ。寒ければスパッツをはく。今年はパンツが流行します。

さて、DCブランド一辺倒の時代は終わりました。高感度でも高価格のものは、今や売れなくなった。メリットがないからです。そこで登場したのがニューDCブランドと言われるもので、まだ名の売れていないデザイナーの卵の作品で、これがよく売れているので

●新入会員

大久保静江

＜社団法人日本洋装協会
兵庫県支部 支部長＞

(社)日本洋装協会兵庫県

支部の会員さんを募ったり、多種に御力添えを頂いている 紳士服の中島副会長のお勧めで、此度KFSに入会できましたことを深く感謝いたしております。今後共、宜しく御指導賜りますようお願い申し上げます。



●6月のマンスリーサロン

パネルディスカッション

日時 6月19日(金)午後6:30

場所 神戸市勤労会館

2階和室1、2号室

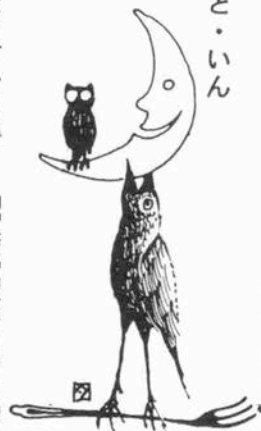
す。“クーカイ”などのブランドがそうです。高感度低価格でない、消費者は買わなくなったんですよ。

DCブランドというのは元々、金のない洋裁学校の生徒が、将来デザイナーになりたいためのキャラクターの売場のことなんです。DCブランドとは神戸で言えば、高架下なんですよ。

同様に、今よく売れているのがメイド・イン・スペインのものです。デザインでも素晴らしいものがあります。

ものの流れが変わって来ました。世界的に消費者の考え方も、変わって来たんです。特に、働く女性が増えて来た現代、高感度・低価格がポイントなんです。今日お越しの皆さんも、この点に留意して、ファッション界をリードして行って下さい。」

びっと・いん



★本格的ライブハウスで

サウンドシヨック

3月20日にオープンのバラディアムは、ヤングアダルト向けのライブ・トレンド・ディスコ。外人バンドによるライブの迫力はさすがに今ヒット中の曲も聴けるから最高。その上料金は男性3500円、女性3000のチケット制で分かりやすいシステム。バーボンやウイスキー等が、気軽に楽しめる。キープは6000円から。スモークサーモ



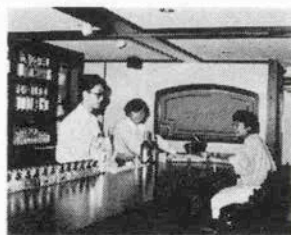
今夜はビートの波に酔って

ン、生ハム、シーフードグ
ラタン等のスナックの他、
オリジナルメニューも準備
中とか。

■中央区中山手通1-13-7神戸山下ビルB1 6:00PM-3:00AM
無休 電話3911-6640

★お好きなバーボントイルで

いま話題の苦楽園の外車



バーボントイルはここで

ブラザ2F、全面ガラス窓のお店BOO・BOO。オーナーの底抜けの明るさに包まれ、すぐ常連気分。

ミセス岡本が作るオリジナルケーキは日替り、お酒が進む魔法のおつまみ、オリジナルのガリックポツブコーンは絶品。お揃いのピンクのシャツで決めた4人のバーテンダーが、各自オリジナルカクテルを持っている。自由に、いろんな

ムードが楽しめるバーボントイルのバーだから、雨の日だってウキウキ。

■西宮市深谷町10-26Aビルディング2F 電話0798-724139
12:00-24:00 無休

★正統派が集う

アダルトバーがオープン

ウイスキーと男との、素敵な関係を追い求めると、サントリー・ジガーバー・エスプリになる。落ち着いたウッディスペース。ゆったりとした空間。店の中央に据えられたハイレッドビッドソンは、気品すら感じさせる。

サントリー角が1ジガー500円。ハイボール1923、が500円等。お奨め料理はスパイシーペーコン600円、蒸鶏とキムチ700円、黒豚のキムチ炒め600円等。



本物のウイスキーに出会える

■中央区下山手通2、神戸ワシントンホテル1F 平日11AM-4PM
5PM-3AM 日祝11AM-4PM
5PM-10AM 無休 電話3927002

●神戸うまいもん
とドリンキング

ナイスティ・カレー・バー
ガネーシヤ

中央区磯上通8-11-8
電話232-0354
11:30AM-8:00PM 日・祝は休

健康ブームの今、評判なのがベジタブルカレーのガネーシヤ。「スープを



白が基調の明るい店内

とる時から野菜しか使いません。インドの業者から購入したスパイスをブレンドして、二日間じっくり煮込みます」と店長の藤森さん。ごはんも麦ごはんという所がいい。今試作中のオリジナルパンは、生地にカレーやナッツ類を練り込んで焼き上げたもの。店に並ぶのも間近だ。

■ビーフカレー、ベジタブルカレーとも、L600円、M500円、S400円、ツケモノ50円、オリジナルパン100円

シンガポールフェア開催
昨年10月にシンガポール
そごうがオープンしたのを
機に、横浜・神戸の2店で
毎年シンガポールフェアを
開催。今年は神戸店で6月
5日(金)から10日(水)
まで新館7階特別催会場に
おいて行なわれる。

現在、シンガポールで流

魅力がいっぱい
直輸入 中心に ヨン ア いる 行して
輸 入 に を シ フ て

商品を販売。初日にはシンガポール直送の蘭の切花を先着千500名にプレゼント。6日には同国人気デザイナーによるファッションショーが。また協賛行事として、シンガポール駐日大使李炯才の「世界の古跡・風景展」が新館美術画廊で開催。

シンガポール旋風到来か

本誌でも何度か取り上げた「メリケン地蔵」の祠が、5月21日、「神戸港を考える会」のメンバーの手によ

って、メリケン波止場の入口に寄贈された。



＊メリケン地蔵＊

祠は、総チーク材で作ら

れており、材料は大阪の業者より寄付されたもの。製作はメンバーの中の建築家やデザイナーの手によって行われ、その費用も、市民による寄付や、「神戸港を考える会」の「ポルトウォッチングマップ」の販売代金によってまかなわれた。

★船で飛ぶ瀬戸内海

4月24日(金)より、大阪・神戸と高松の間にウオータージェットポンプを推進力とした『ジェットフォイル』が就行。従来の船と

は全く異なる、ジェットエンジンを使い、港外では翼を出して海面から浮上。時速80キロの高速で翼走する為波高3・5メートルの荒

「ジェットfoil」の雄姿
も、天時で
テやヨ、タ
コの揺
れのな
い快適
な船旅

が楽しめる。これで、神戸
⇕高松は2時間足らずで行
き来することが出来るよう
になった。

「ジェットオイル」は、中突堤より、夏期は2便、冬期は1便発着する。

★ミナトに大魚出現

大魚がシンボルの「フイツシユダンス」がオープン。メリケンパークを訪れる若者が一度は足を運びたくる、今風の建物。

海の幸・山の幸を味わえ

「ギョ」太魚にびっくり

るレストラン、舌平目から
お好み焼までできる鉄板コ
ーナー、テイクアウトでは
アイスクリームを好みのト
ッピングで、夜の港を楽し

サンガイ・シウネ

本運動の基本姿勢は障害のある方々と「共に生きていこう」ということであります。これは神戸市の元民生局長で、本運動の顧問でもある松前敏彦氏が、著書「共に生きる」で詳しく説いておられますが、その中で次の挿話を紹介しておられます。

ネパールの医療活動をした岩村晃先生が、重症の老人を病院へ運んでおられた時、たまたま同道を行く青年が、その患者を背負負うてくると「サンガイ・ジュネ、コレをいって」と「サンガイ・ジュネ、ラギ」(みんなで生きるためです)といったという。先生はこの言葉に感動されて、以後多くのお会いに「サンガイジュネ」を口にするようになった。

ある障害児の親はこの子のために
に長生きしようと努めていた。そこ
で、このために生きるという親
の切の押し売りの生き方が、一彼
の生活に我が生活に、我が生活
を彼と同じレベルで交錯させ、お互
に火花を散らす主体的な男に生き
る。境地を理解でき、生き甲斐を
発見できた。と、速報された。

現在は経済性、効率性優先の社

会ですが、いわゆる文明の進歩にともなつて、恐ろしい精神の崩壊が——自分さえよければよいが、拵がつてはいないでしょうか。障害を持つ人々と「サンガイ・ジウネ」が我々の目標です。

誕生日よりがとう運動本部
651 神戸市中央区御幸通八ノ一ノ六
神戸国際会館一階の郵便局の隣
電話〇七八―二三―二二一四

みながらバーでカクテルも
いいかもしれない。
貴方の「港」の演出をフ
イッシュダンスで…。

★小島・川端両先生が 突然の逝去

小誌主催の神戸文学賞の
選考をお願いしている小島
輝正神戸大学名誉教授と川
端柳太郎同大教授のお二人
が相次いで亡くなられた。



故小島輝正さん 川端
先生は 4月9
日急性
心不全
のため
55歳で
また小
島先生は5月5日胆のう炎
のため67歳で逝去、それぞ
れ11日に中勝寺、7日に祥
童寺で葬儀・告別式が行わ
れた。

川端先生は、専門の米文
学の他、社会問題・風俗問
題にも取り組み、また小島
先生は仏文学者としてアラ
ゴンの研究などで知られ、
ともに交友も深く、後進の
育成にも力を尽して来られ
た。神戸としては誠に惜し
い方々を失くしたことになる。
心よりご冥福をお祈り
いたします。

★心のハーモニー

天までとどけ
今年一月、食道癌で死去

した矢野恵一郎先生の「追
悼演奏会」が、7月18日午
後6時半より、神戸文化大
ホールで開催される。

矢野先生は、昭和29年神
戸市立鷹匠中学校に着任、
合唱部顧問として4度同中
学を全国一位にし、55年か
らは住吉中学校で活躍され
ていた。

今回、鷹匠中合唱部OB
の呼びかけでこの演奏会が
実現。生前先生の指導した
合唱団・コーラスグループ
5団体が出演する。
「先生に習った思い出の
歌を精一杯歌いたい」と代
表の中塚さん。

■入場料 千円
■問い合わせ 第78(82) 193
6中塚まで

★斬新な良寛顕彰碑完成
須磨寺塔頭正覚院で4月
17日(金)、「良寛さま像・
句碑並びに『須磨紀行』
碑」が完成した。



良寛
の江
戸時
代の
偉人
と
良
寛
の
回
り
で、
マ
リ
を
つ
い
て
遊
ぶ
イ
メ
ー
ジ
を
元
に
造
ら
れ
て
い
る。
ま
た、
こ
の
像
の
最
大
の
特
徴
は、
良
寛
像
に
顔
が
な
い
こ
と
で、
肌
色
ミ
カ
ゲ

良寛の像も、子供達が
良寛の回りで、マリをつい
て遊ぶイメージを元に造ら
れている。また、この像の
最大の特徴は、良寛像に顔
がないことで、肌色ミカゲ

石のよく研磨された表面
に、拝む者の姿が写り、良
寛と自分が一体化するとい
う宗教的なシチュエーショ
ンを持っている。

像の除幕式は5月31日
(日)に行われた。

★87クイーン・オブ・ボウ ル決定

第7回を迎える「六甲ク
イーンズオープントーナメ
ント」が4月20日、グラン
ド六甲にて開催された。全
国の女子プロ55名に、前日
小山康代プロ



小山康代プロ

の「第11回神戸プロアマボ
ウリングフェスティバル」
で勝ち抜いたアマチュア女
子16名を加えて白熱戦が。
熱戦の結果みごと優勝の
栄冠と賞金百万円を手にし
たのは小山康代プロ。準優
勝は小野日出朱プロ。そし
て3位は高林英子プロ。

開港120年の春を飾る今大
会、若手の進出もめざまし
く、新時代のボーリンググ
ームを予感させた。

★金月焰子展が神戸・大阪 で

長年ニューヨークで活躍
していたアーティスト金月焰
子さんが神戸に帰って2
年。満を期しての大作によ

図 書 ガイド



「あしかの
まさる」
亀井 一成



「十字架
委員長
河上良雄監修



「食欲不振・体
重不足は養生
で治る」
葛原 黄道

(い)のことは社1800円
数年前より、健康に関する関心
が非常に高くなり、ヘルシー産業
が注目をあびてきた。しかし、人
間にとって、もっとも肝心なのは
本質は食事である。人間のエネルギーの源はすべて食にあることを
つい忘れ、健康に反する食療療法
を多量にしている人はいく。そうい
った中で、何よりも健康を促進させる効
果があることがやさしく書かれて
いる。(元就出版社 750円)

新作展を6/19〜7/1
大阪ABCギャラリー(上
本町6 ☎06 773 6111)



金月照子さん

で開催。

また6/27〜7/3は神戸の元町海文堂ギャラリー(元町3 ☎078 431 2467)で、油彩とコラージュの小品展を開催し現代美術の粋を見せる。

★貴方の出逢いの演出を人生の中で最も大切な出逢い「結婚」。その出逢いのお手伝いをするのが「ワー

ルドエクセレントクラブ」アートフラワリーの長浜リツコさんが今までの経験を生かして、今年3月ポート



スタッフの面々
経験豊 人生 一歩にオ

ンサルタントの先生方がカウンセリングにより、貴方にふさわしい相手を紹介します。

出逢いのチャンスを広げてみませんか。

■登録料 6万円(期間3年)
■問い合わせ ☎303 2831

★ゆかりの神戸で

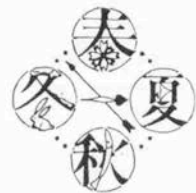
柳原良平「船の世界」展
海文堂ギャラリーで神戸開港120年を記念する「柳原良平・船の世界展」の開催に伴い初日の4月25日パ



柳原さん(左)石川さん(右)に
神戸ゆかりの作品も

数多く制作している。久々の個展を祝って、石川玲子さんのフルートが演奏されるなど、パーティは盛り上がりを見せていた。

花時計



神戸初夏三題

神戸の初夏といえば話題を集めるのは「神戸まつり」である。今年も大いに盛り上ったが、フィナーレを飾るパレードの当日は雨になった、危うく中止になるかと思われる程だった。が、何とか実施された。

雨の加減もあって観客も例年より少なかった。

そして、メリケンパークのオープンということもあって、神戸J.C.がイベントを組んでいたが幾分雨に災いされたという。

ポートアイランドの街区づくり、特にファッショントアウンづくりもいよいよ仕上げ段階にはいつてきた。神戸のファッション街を標榜するポートアイランドのファッショントアウンではあるが、何かよそよそしい空間ば

かりであった。が、この中央点にオールスタイルが「モードピア」と称するファッションの神殿を構えた。これで神戸市民にも認知されるファッショントアウンになった。

もう一つの話題は「神戸七福神」だ。いよいよ巡礼が出来るオープンの日も近い。

神戸の観光はいま、絶好調である。「北野町」「ポートアイランド」に若者たちが集る。ついでに「神戸七福神」も詣って貰おうよ。

★KFSの藤井美智子さんの長女みゆきさんが、4月24日六甲山ホテルで、川村運夫(県立宝塚高校)先生とゴールイン。おめでと

●KOBE POST

★4月29日に、県立播磨中央公園(加東郡滝野町)内「石碑の丘」に「坂井知事に感謝する」といって(発起人代表石野徹一)の手によって兵庫県知事坂井時忠氏の歌碑が完成し除幕式が行われた。歌は「春霞美 兵庫の丘に 青々の 同窓創りて 文化すめむ」

★神戸市の人事異動によつて、神戸市民文化振興財団専務理事兼事務局長の北嶋敬男さんの、長田区長に栄転され、弓倉福男さんが後任に就任されました。

★神戸ポートピアホテルの住野昭さんが円満退社され、兵庫・西オーストラリア協会(会長・坂井時忠前兵庫県知事)が誕生し、在豪15年の商社マンと、ホテルでの4年間の経験を生かして、西オーストラリア州政府名誉代表に就任。日本の経済と文化交流に役立ちたいとの事。〒672西宮市苦楽園6番町2ノ事 ☎079 8 731 65

★UCC上島珈琲本社第二事業部「マーケティング開発本部」部長木下尚慈、本部課長・神戸広報室長西田俊一が東京へ6月1日より移転。〒100東京都中央区日本橋編留町1丁目9番10号上野ビル7F ☎03(662) 58000

★フワッショントアウンに、6月6日オールスタイル・モードピア(川上勉社長)が竣工。また6月15日にはKKジャグワ(細川教夫社長)PARTIIが完成。モードピア・神戸市中央区港島中町6丁目5番1移転は7月中旬予定。★NHK神戸放送局の藤井康人さんが、5月24日元町のホテルシェラで内藤圭子さんとゴールイン。



左より大谷晃世社長／西沢暉さん／山本芳樹さん／長田／神戸飯店にて>

■こころの歳時記 心に残る 友人たちの 送る言葉

西沢 暉

△フリーアナウンサー△

山本 芳樹

△美術研究家△

大谷 晃世

△大谷徳風社社長△

大谷 私の会社は阪神ファンが多く西沢さんの放送は楽しみです。西沢 ありがとうございます。今日は夕方から巨神戦三連戦。

大谷 ウワッツ大変！頑張ってくださいね(笑)。司会では結婚式とお葬儀とどちらが気を遣われますか

西沢 それは結婚式です。お葬儀は、だいたい決まったスタイルから外れることはありませんが、結婚式は色々バラエティがあつて。

大谷 お葬儀で一番印象に残ることはどんなことでしょうか。

山本 弔辞の言葉が胸に残ることが多いですね。先日は急に神戸大学の川端柳太郎教授が亡くなられて、素晴らしい弔辞があり、お人柄がしのばれて涙しましたなあ。

西沢 弔辞が印象深いですね。ただ、僕達が関った中であまり長いとシラケますね。三人位がいい。

六人十人となるとちよつと多い。山本 先日、山陽電鉄の先輩の葬儀の時、写真がひどかった。ムリ

ヤリ紋付を着せている。ところが川端教授のは自然のラフな平常の

写真でとても親しみやすい。

先輩のとき救われたのはご息

のごあいさつがよかった。葬儀が全体に上手くいっているなど思う

のに最後のあいさつを葬儀屋の方にされるとどうもよくない。第三

者の美辞麗句より涙ながらのあり

がとうございましたとのひと言の方が生きますよ。

クリスマスチャンで栄光教会でした。が、兄が僕にあいさつをというので、短いいけれど母の思い出を一ついれてごあいさつしました。スラスラも良くない(笑)。木村担の社長の社葬のときは、神戸商大グリークラブの創設者だったので、校歌を始めとして学生に合唱してもらい、退場するときも校歌を歌ってもらってとても良かった。

大谷 一つの演出ですね。

山本 この頃は故人をしのぶというので音楽と語りを入れますね。

西沢 僕は必ず入れますし、その原稿を僕が取材して書きますね。

山本 それは大変ですね。

西沢 スライドと共にナレーションをやります。日電ガラス瓶の会長のときも故人の足跡が分かってよかった。

山本 お葬儀屋さんの上手にやられるのはいいけれど、ちよつと馬鹿丁寧な敬語が多いのもかえって嫌味ですね。

西沢 我々の方がザックバランに言いやすい。僕は台本も書きます。

大谷 それでは又今後共々協力下さい。

全葬連認定「葬祭専門士」資格取得者

株式会社 大谷 徳風社

代表取締役 大谷 晃世

全国葬祭事業協同組合

神戸葬祭事業協同組合理事

神戸市規格葬儀取扱指定店理事

本社／神戸市長田区松野通1-11-12
電話078-62110089
鈴蘭台支店／電話078-59215485

神戸・発見

PART 6

終着駅へ

前もって編集部の方から、

「どの辺りへ行かれますか？」

と訊かれて、しばらく考えたあげく、

「和田岬の辺りへ行きたいですね」と答えた。

べつにたいした理由はなかった。

まだ一度も行ったことがなかったのと、もう二

十年も前に、村から神戸へ通勤していた時期があ

って、その頃、列車が兵庫駅の手前まで来ると、

いつもこんな車内放送を聴いていたからだ。

「和田岬線に乗り換えの方は……」

その放送を聴きながら、ただなんとなく、一度

あの線に乗り換えてみたいと思っていたのだった

しかし、朝はもちろん、そんな回り道を楽しむ

時間的な余裕はないし、仕事が終わってからの帰

りは、なにしろ、村まで二時間もかかるので、早

く家へ帰ってのんびりしたいという気持ちのほう

が強かった。そのため、とうとう、一度も和田岬

線に乗ることなく一年が過ぎてしまったのだ。

高校を出た二年目からは大学の夜間部へ通い始

めたので、五年経ったら村へ戻るという約束で、



た。

それが先日、

「どの辺りへ行かれますか？」

と訊かれて、

「和田岬線に乗り換えの方は……」

突然、そんな車内放送を思い出したのだから少

しは不思議だ。

ほとんどの場合はその程度の理由で腰を上げること

ができる。

軒上 泊

〈作家〉

カメラ 池田年夫

神戸へ移り住んだのだった。そうすると、いつのまにか例の車内放送も忘れてしまった。神戸に住んでいた四年間も、その後の放浪していた期間も、村へ戻ってからもずっと忘れ続けてい

そんなわけで、二十年前と同じように、村の駅から列車に乗って神戸へ出かけた。

四月下旬のとても天気の良い日で、昼下がりのローカル線は客の姿もまばらだ。列車の速度も車

内の雰囲気もじつにのんびりしていて、窓からぼんやり外を見ている、ぼくの頭の中はほとんど空っぽみたいなものだ。もう少し付け加えると、誰かがどんな話題を出してしようと、びくともしないような空っぽだったといえる。

むろん、ぼくはその状態を喜んでた。なんだか余生を生きてるみたいなきがして、とても落ち着きがよかった。二十年前に通動していた頃は少し違っていたからだ。当時は本など一冊も読んだことがなく、読みたいとも思わなかったで、この時と同じようにぼんやり窓の外を見ていた。だけど、ひと月が経ち、ふた月が経つにつれて、少しずつ頭が重たくなりかけてきたのだった。

つまり、四十歳になっても、五十歳になってもこうやって、村から神戸まで通動しているのかなあ、と思ったのだ。そうするとちょっといやな気がして、たとえしばらくでも生活を変えてみたいと思ったのだ。そのことの結果が、大学の夜間部へ通うことであり、五年間だけ村を離れて一人住



JR西日本和田岬駅。その建築はちょっと独特の様式でどことなく感じられるハイカラ趣味が、ロマンティックな気分を誘ってくれたりもした。

まいをすることだった。

そして、そのことがおそらく、いまこんな文章を書いていることにもつながってきたのだから、これもまた少々不思議な気もする。

兵庫駅から和田岬線に乗り換えると、終着駅の和田岬駅までは六分で着いてしまう。そのふたつの駅のあいだにはひとつも駅がないのだ。しかも、時刻表によると、和田岬線は朝夕に数本ずつしか列車が運転されていない。つまり、終着駅の辺りで働く人たちのための通勤列車になっているようだ。

じっさい、その辺りは、観光名所のひとつにあげられているわけではない。出かける前から、ぼくも、造船の仕事をしている人々の労働現場といったイメージを抱いていた。それでもなお、一度行ってみたい所として心に残っていたのだった。

和田岬駅へ着いたのは夕方の五時前だった。駅は小さかったが、その建築はちょっと独特の様式をしていた。もうかなり古い建物で、天井が高く





たいていの街は、何気ない一画に、心をなごませしてくれる風景を用意しているものだ。

どことなく感じられるハイカラ趣味が、ロマンティックな気分を誘ってくれたりもした。

夕方の五時半までは列車がないので、駅には乗客の姿は一人もなく、駅員が待合室へひしゃくで水を撒いていた。そういえば、むかしはよく駅のホームや待合室に水が撒かれていた。そんなことなど思い出して、待合室をうろうろしながら気持ちがあぐさになったものだ。

改札口を抜けてホームへ入ると、線路の両側には民家が並んでいた。その界限はよくある下町の風景といった感じで、特別変わったようなものは何も見当たらない。それが逆にうれしくて、しばらくホームに立って辺りをきょろきょろ見回していた。

そういえば、ぼくがしてきた旅はたいがいがそんな具合だった。どこの街へ行っても、ただ街なかをぶらぶら歩き回る程度で、その街が目玉商品にしているような場所や、イベントのたぐいを覗きに行ったことは一度もない。

だから、この時も、この程度のことだけでけっこう楽しんでいたのだ。

なるほど、観光名所へなど出かけなくても、たいていの街は、何気ない一画に、心をなごませしてくれる風景を用意しているものだ。そこが初めて訪れる場所だと、眼に入る風景が、旅の感覚でデフォルメされるため、景色が訪れた者の都合に応じて主観で染まってくれたりもする。

とくに港街の場合はそうだ。

和田岬駅を離れて、次に海が見える所まで行くことになった。より海岸線へ近づいていくと、その近辺には造船関係の工場が建ち並んでいた。いわゆる、気のきいた喫茶店やレストランのたぐいは一軒も見当たらず、そこがとてもよかった。小さな商店が並ぶ界限などもあって、その中には、店の入口に白い半円型ののれんをかけた、例のミルク・ホールのような、少しも気のきいていない喫茶店があったりもするのだ。

やがて海が見える岸壁に辿り着くと、そこは造船所の裏側にあたっていた。巨大なドックが裏側から見えて、その東側には、思ったよりも近くにポートアイランドのビル群が見える。しかし、ジャイアント・ホイールなどは回転しているようには見えない。

とにかく天気の良い日で、海はきらきらと輝いているし、時には鮮やかなブルーの船が行き過ぎていく。風はほどよい微風で、別の角度から眺める神戸港の景色はなかなか乙なものだ。

その辺には倉庫が並んでいたのだが、倉庫の間

には幅広の直線道路が走っていて、まずまずのカーアクションができそうなくらいの長さだ。

じっさい、ドラマの舞台に使えそうな気もした。今度来た時は一日中、倉庫の壁にでもたれて陽なたぼっこをしようと思った。だけど、そんな状態で浮かんでくるドラマはどんなストーリーになるのだろうか。

ひとつのさびれた終着駅と、工場地帯をかたちづくっているひとつの岬、そして、陽ざしの中の港を海側から見渡すことができるひとつの波止場――。

おそらく、主人公は、いかにこみいった街なかへ入って行こうと、そこに、ミステリアスな何かを見出しにくい年齢になっているのはたしかだ。そして、ヒロインは、波立っていた荒さが次第におちつきを見せはじめ、そろそろ、さざ波めいたリズムを刻む季節へ移りかけたところだろう。

二人は、どんなドラマツルギーを展開するのだろうか。

また詳細は定かではないが、仮りのタイトルはこんな風にしとくか。

「終着駅からはじまる」

大人の男と女のラブ・ストーリーには、港街のありふれた一画がとても似合っていそうな気がする。

「なんでもいいからはっきりしたものが見たくて、私は、街灯に照らされた意外の波止場へ焦点を絞った。黒っぽい夜の海が低い波を立て、波の鱗の先には、ドック入りした外国船のタンカーが見えた。そのタンカーの真向かいには、港めぐりの小船が発着するターミナルがあるはずだ。十数年前、そう言えば、何度か港めぐりの船に乗った覚えがある。一周三十分ほどのささやかな航海だったが、隣にいる女のせいで、結構楽しかったことを覚えている。数年後に別れるはめになるとは思っていなかったが、一生付き合う相手だと決めていたわけでもなかった。」筆者著「べっぴんの町」より。

